

景況

レポート
2026年4～6月期調査

景気動向の概況

業況DIは
前期比5.0ポイント悪化

2026年4月から6月にかけては、物価上昇や人手不足に加え、米国とイランをめぐる中東情勢の緊迫化を背景に、原油価格や為替が不安定な動きを見せました。賃上げの広がりもある一方、企業経営を取り巻く環境はなお先行き不透明です。

今期の全業種業況DIは▲12.6で、前期比5.0ポイントのマイナスとなり、全体としては「悪化」となりました。業種別では前期まで唯一プラス圏内であった建設業が一転して「大幅に悪化」となったほか、卸売業についても「悪化」、製造業、小売業については「横ばい」となったものの、依然としてマイナス圏内です。不動産業、サービス業については「やや改善」となりました。

今後は物価・金利に加え、中東情勢や為替、原油価格の動向、人材確保や賃上げ対応を注視する必要があり、外部環境の変化に応じた柔軟な経営判断が求められます。

調査要領

	依頼先数	回答数	回答率
合計	1192社	445社	37.3%
製造業	266社	115社	43.2%
建設業	214社	83社	38.8%
卸売業	241社	81社	33.6%

	依頼先数	回答数	回答率
小売業	178社	53社	29.8%
不動産業	106社	43社	40.6%
サービス業	187社	70社	37.4%

調査時点／2026年6月上旬
調査依頼先／当庫取引先
調査方法／郵送調査
調査対象期間／[今期]2026年4月～6月
[前期]2026年1月～3月
[来期]2026年7月～9月

分析方法／「増加」(上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。
※DI: Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

製造業

業況は横ばい、
来期は悪化の見通し

前期
今期
見通し

10年間の推移(業況DI)

建設業

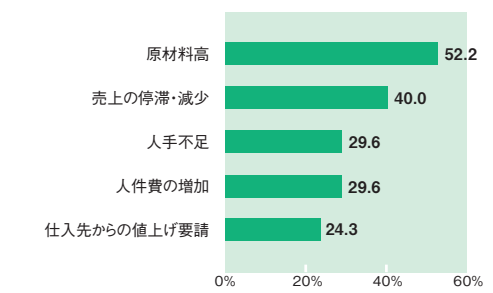
業況は大幅に悪化、
来期は横ばいの見通し

前期
今期
見通し

10年間の推移(業況DI)

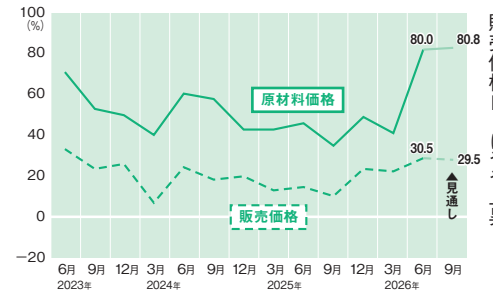
経営上の問題点

原材料高が
一番の課題



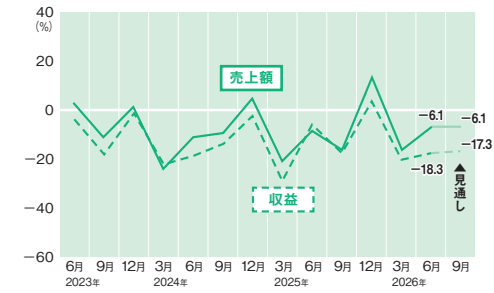
価格DI

原材料価格DIは大幅に上昇、
販売価格DIはやや上昇



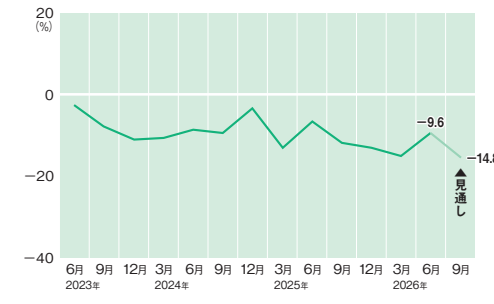
売上額・収益DI(前期比)

売上額DIはやや改善、
収益DIはほぼ横ばい



資金繰りDI

資金繰りDIはやや改善

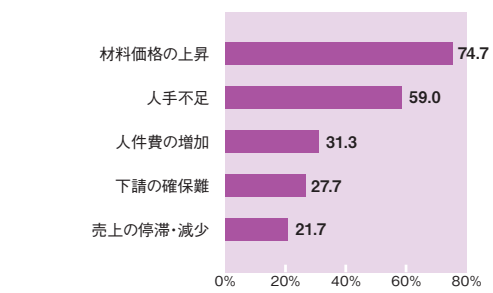


お客様の声

- 原材料の値上げに対して、販売先が価格転嫁を認めてくれない。この事実をもっと知って欲しい(伊丹市 電子装置製造業)
- 当社は理容業界に提供する販促品・ギフトを製造しているが、供給先である理容店の客単価が上がらないと、販売単価を上げることができない。業界全体の底上げが必要と考える(真面目 製造業)
- 包装資材の価格上昇に加え、満洲に商品が供給されない不安がある(大阪市 海苔製造)

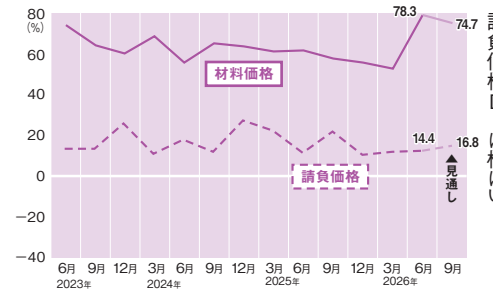
経営上の問題点

材料価格の上昇が
一番の課題



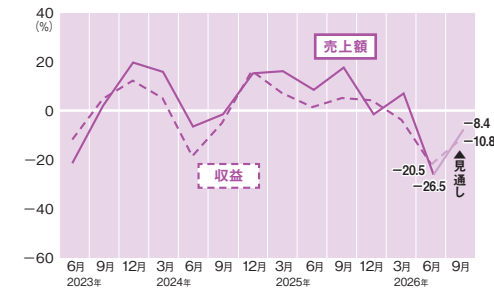
価格DI

材料価格DIは大幅に上昇、
請負価格DIは横ばい



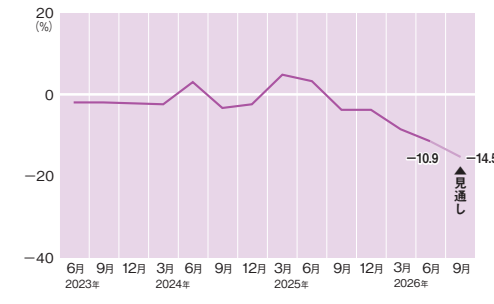
売上額・収益DI(前期比)

売上額DIは大幅に悪化、
収益DIも大幅に悪化



資金繰りDI

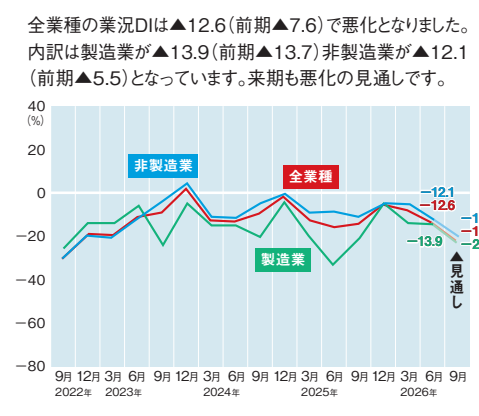
資金繰りDIはほぼ横ばい



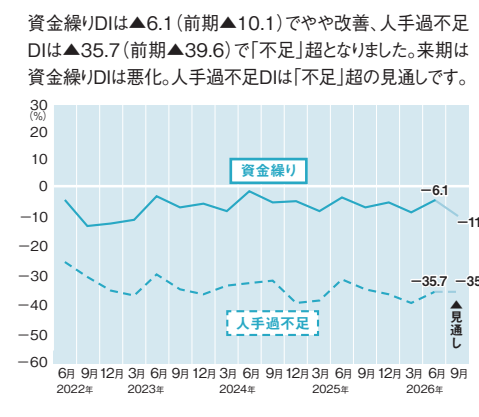
お客様の声

- 金利の上昇に加えて、海外での紛争など想定外の事項が多すぎる。そこへ手形の期日短縮や廃止など、下請け保護の反面、資金繰り面で厳しい面もある(尼崎市 建設業)
- 緩やかな価格上昇はあった方がいいが、急激な上昇は見積価格が追いつかず大変である(尼崎市 鉄骨工事業)

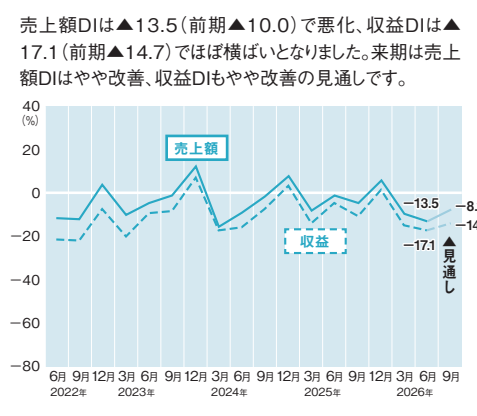
業況DIの推移



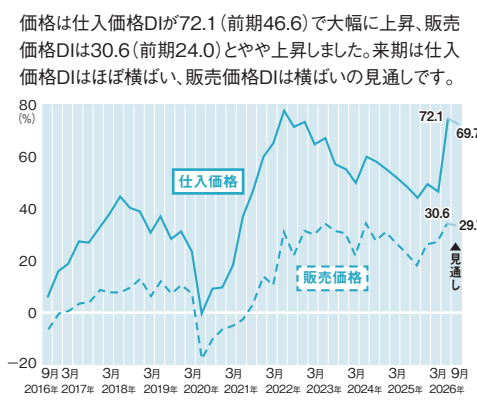
資金繰りDI: 人手過不足DI



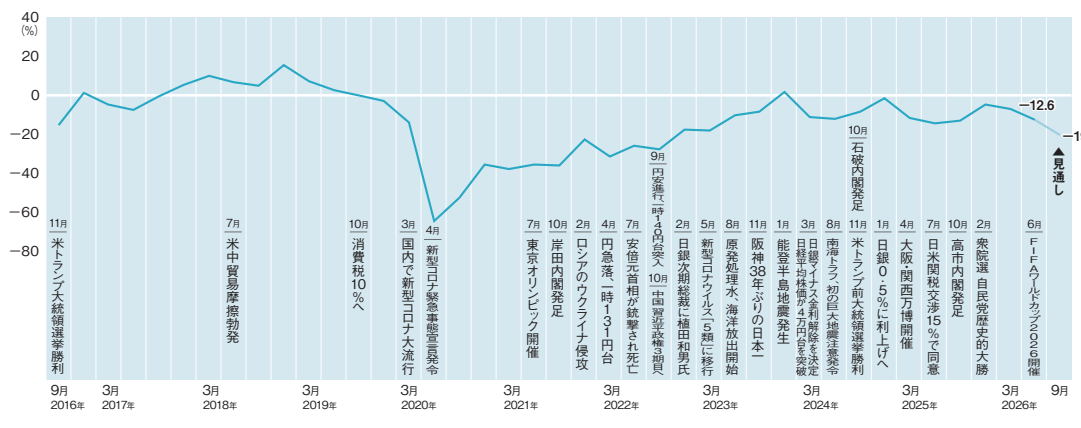
売上額DI・収益DI(前期比)



10年間の推移(価格DI)



10年間の推移(業況DI)



全業種総合DI

業況は悪化、
来期も悪化の見通し

前期
今期
見通し



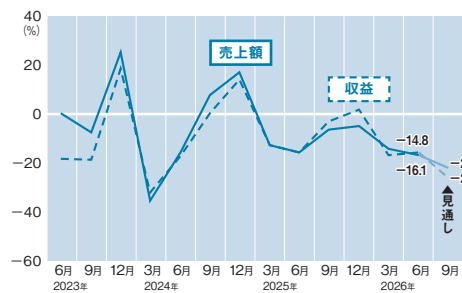
卸売業

業況は悪化、
来期も悪化の見通し



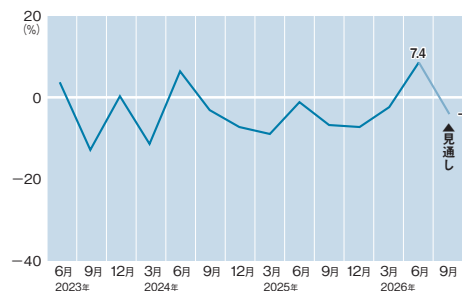
売上額・収益D-I（前期比）

売上額D-Iはほぼ横ばい、
収益D-Iは横ばい



資金繰りD-I

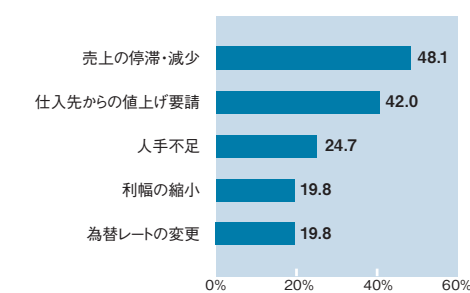
資金繰りD-Iはやや改善



10年間の推移（業況D-I）

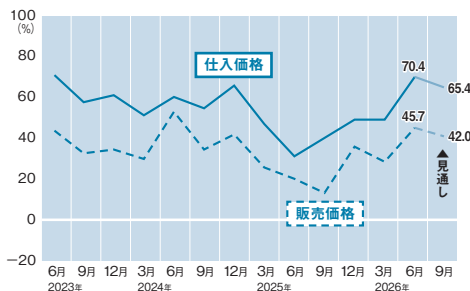
経営上の問題点

売上の停滞・減少が
一番の課題



価格D-I

仕入れ価格D-Iは大幅に上昇、
販売価格D-Iも大幅に上昇



お客様の声

- 毎年の人件費アップに加え、今回の中東問題ですべてにおいて原材料が上がっているが、すべて価格転嫁できるわけではない（名古屋市 日用品卸売業）
- 中東問題で商品が一部入荷しないので心配である（茨木市 卸売業）



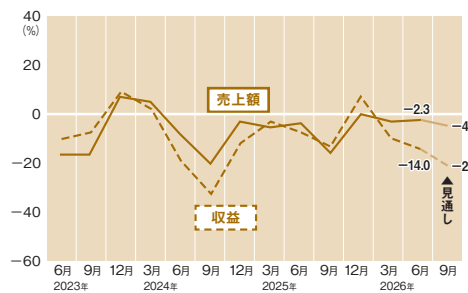
不動産業

業況はやや改善、
来期は悪化の見通し



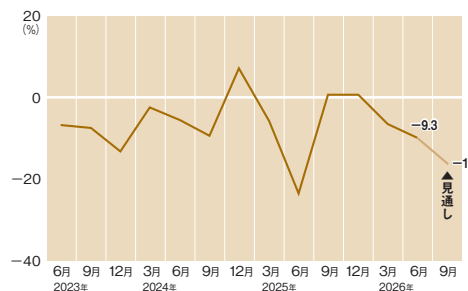
売上額・収益D-I（前期比）

売上額D-Iは横ばい、
収益D-Iは悪化



資金繰りD-I

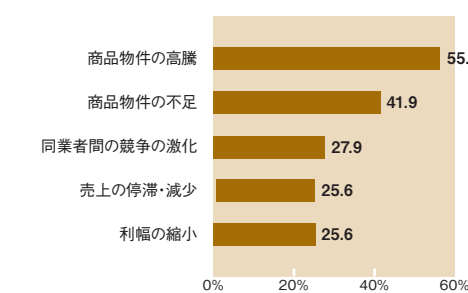
資金繰りD-Iは悪化



10年間の推移（業況D-I）

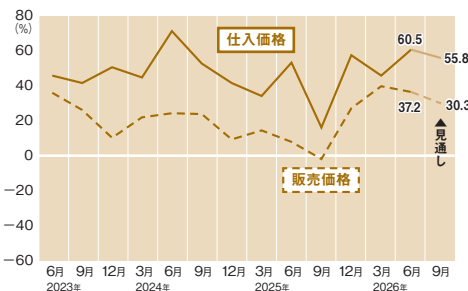
経営上の問題点

商品物件の高騰が
一番の課題



価格D-I

仕入れ価格D-Iは上昇、
販売価格D-Iはやや低下



お客様の声

- お客様が景気が悪いと感じている中、価格転嫁はあり得ない。政府は格差を是正して欲しい（名古屋市 不動産業）



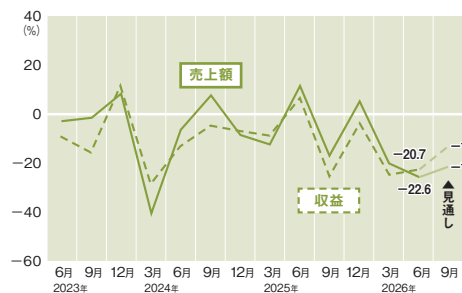
小売業

業況は横ばい、
来期は悪化の見通し



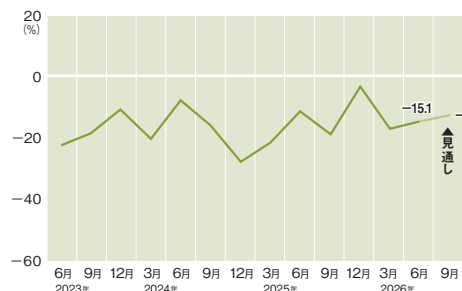
売上額・収益D-I（前期比）

売上額D-Iは悪化、
収益D-Iはほぼ横ばい



資金繰りD-I

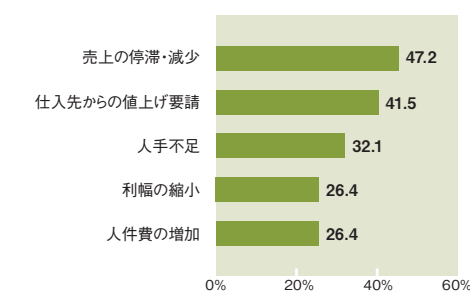
資金繰りD-Iはほぼ横ばい



10年間の推移（業況D-I）

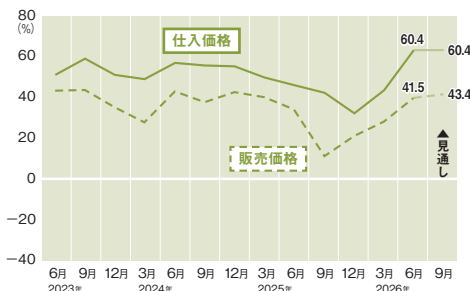
経営上の問題点

売上の停滞・減少が
一番の課題



価格D-I

仕入れ価格D-Iが大幅に上昇、
販売価格D-Iは上昇



お客様の声

- エンドユーザーに対する値上げは当業界においては限界と思う（西宮市 自転車販売業）
- 毎日のように値上げの連絡が入り不安である（西宮市 文具小売業）



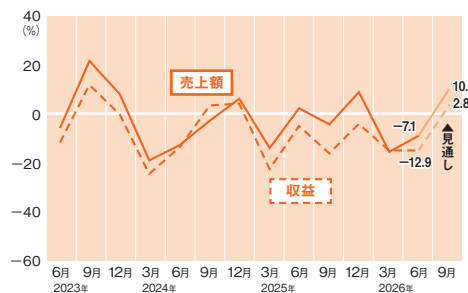
サービス業

業況はやや改善、
来期は横ばいの見通し



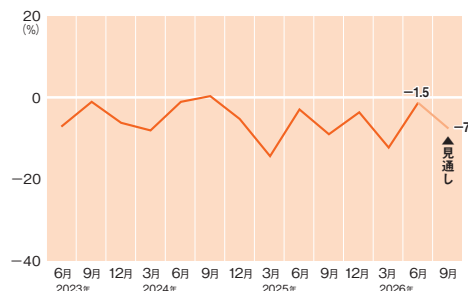
売上額・収益D-I（前期比）

売上額D-Iはやや改善、
収益D-Iは横ばい



資金繰りD-I

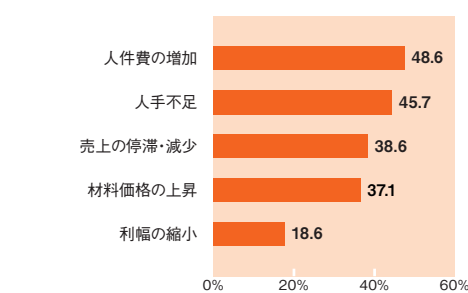
資金繰りD-Iはやや改善



10年間の推移（業況D-I）

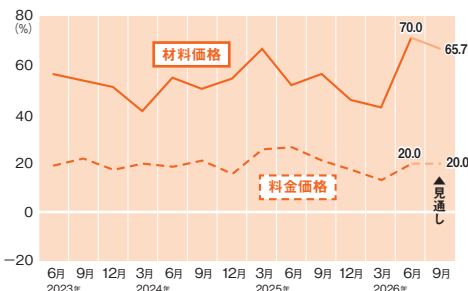
経営上の問題点

人件費の増加及び
人手不足が課題



価格D-I

材料価格D-Iは大幅に上昇、
料金価格D-Iはやや上昇



お客様の声

- 仕入れ先の一方的な価格引上げが多い（真面目 飲食業）
- 中東情勢の影響で資材価格の高騰と入手難で先行きが不透明である（名古屋市 梱包業）
- 最低賃金まで引上げても、それでは人材が集まらない（名古屋市 橋内作業）
- 中東情勢の悪化でオイル類が全く買えない（名古屋市 自動車整備業）